

チーム三潞(学校・家庭・地域) 心を一つにして 乗り越えよう 子どもたちのために



久留米市立三潞小学校 学校だより No.6

ぎんなん

令和5年10月16日
校長 原文也
児童数 492名

本年度の重点目標「主体的・協働的に取り組む子どもの育成」

仲間と団結し、絆を深めた運動会



応援合戦(赤)



応援合戦(青)



応援合戦(黄)



1年「ときめきダイアリー」



2年「みんなでスマイル！」



3年「踊り出せばみんなスター☆」



4年「スターメイン」



5年「大地踏み鳴らし叩く」



6年「つなぐ、そして新たな一歩」

9月30日(土)の運動会。事前の練習や準備から運動会当日まで、様々な場面において、子どもたちが、一生懸命頑張っている姿がたくさん見られ、感動あふれる運動会になりました。閉会式は、熱中症対策のため、テントに座ったまま時間を短縮して実施しました。子どもたちの出番は予定どおり行いましたが、私の話は短時間にとどめ、次の登校日である3日(火)の全校朝会で話すことにしました。その時、次のような話をしました。

運動会が終わって3日目の朝を迎えましたが、校長先生は、あの時の感動が、今もはつきりと残っています。今年の運動会のスローガンどおり、勝利をつかみとるために、仲間と団結し、絆を深めているみなさんの姿がたくさん見られたからです。

運動会のような勝負事には、勝った人たちがいれば、必ず、負けた人たちもいます。校長先生は、勝ち負けよりも大切なことがあると思っています。それは、勝利をつかみとるために、自分たちがどれだけ頑張ってきたのか振り返り、その頑張りを実感することです。

みなさんが、運動会に向けて頑張ってきたことは、担任の先生をはじめ、多くの先生方や友達などが、きちんと見てくれています。運動会の練習や準備はもちろんのこと、あいさつやろうかの通り方、時間を守ること、くつをそろえることなど、普段の生活も一生懸命頑張ってきました。みなさんが、何事においても、目標をもって取り組めば、きちんとできることを自分たちの姿で証明したのです。

校長先生は、この運動会を通して、また一つ成長したみなさんと一緒に学校生活を過ごせることをとてもうれしく思っています。そして、これから、みなさん一人一人のどのような頑張りが見られるのか、とても楽しみです。運動会に向けて頑張ることができたことを大きな自信にして、これからの学校生活においても、学習中や休み時間など、いろいろな場面で、「自分から進んで」取り組み「かかわり合い」ながら、492人全員が楽しいと思える三漕小学校をつくっていきましょう。

子どもたちが、運動会で発揮したよさや頑張りを今後の学校生活に生かしていくことができるよう、引き続き全職員で、子ども一人一人と向き合っていきたいと思えます。

保護者の皆様には、お子さんが練習から当日まで、一生懸命取り組むことができるよう、体調管理や励ましの声かけなどをしていただき、ありがとうございました。また、事前のテント・入退場門設営や当日の後片づけなどに率先して取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。保護者の皆様のおかげで、子どもたちにとって実り多き運動会になりました。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

学習参観・学級分会などへのご参加、ありがとうございました

13日(金)の5校時は学習参観でした。この日は、子どもたちの学習での頑張りをみていただくことができました。

先生の話や友達の発表を真剣な表情で静かに聞いている子ども。課題を解決しようと、熱心に取り組み、自分の考えをノートに書いている子ども。Chromebookを使って意欲的に調べている子ども。ペアやグループ、クラス全体で、自分の考えや思いを友達に伝えるように発表している子ども。保護者の方が来られるということで、普段の学習よりもやる気を高めている子もいれば、反対に少し緊張している子もいましたが、自分のよさを発揮しながら、頑張っている子どもたちの姿が見られました。



参観終了後は学級分会、午前中は2年生と6年生のふれあい活動もありました。司会進行やお世話をしてくださった学級委員の皆様、そして、ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

かかわり合い、つながり合う町をめざして(4年生)

4年生は、総合的な学習の時間に、「かかわり合い、つながり合う町をめざして」の学習をしています。障がいのある人の立場に立って考え、誰もが住みやすい町にするために、自分にできることや大切にすべきことなどについて考える学習です。

11日(水)は、久留米市社会福祉協議会よりお借りした車いすやアイマスク、白杖を使って、クラスごとに疑似体験をしました。子どもたちは、少しでも段差があると車いすの操作が大変になることに気づいたり、目の不自由な人への声のかけ方を考えたりしていました。また、少しの距離でも移動するのが大変なことや時間がかかることを実感していました。今後、子どもたちは様々な活動を通して、学びを深めていき、その学習の成果を11月12日(日)のぎんなんフェスタでお家の方々にも発信する予定です。

